

申込受付中

住宅の耐震改修を支援します

①耐震診断 ～住宅の耐震性がどのくらいあるか診断します～

対象住宅 昭和56年5月31日以前に着工され、在来軸組工法で建築された2階建て以下の戸建て住宅または併用住宅

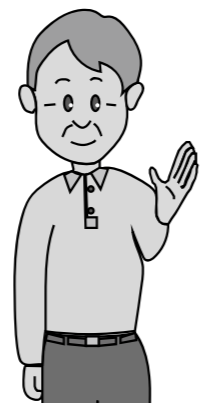
募集期間 第1次 9月30日(木)まで
第2次 10月～12月(予定)

費用 診断者(建築士)の交通費として1,000円(診断費用は無料です)

診断結果は4段階で評価

診断方法

診断者(建築士)が訪問し、間取り図や建物の状態を確認して、耐震性を診断します

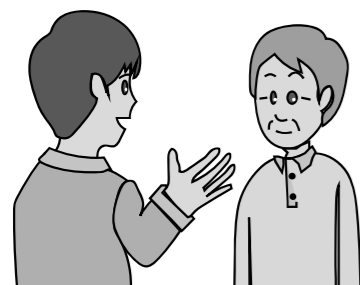


受診者の感想

- ▼自宅の健康診断のつもりで申し込みました。
- ▼費用があまりかからず、気軽に申し込むことができました。
- ▼過去にリフォームをしても、耐震診断の結果、耐震性を満たしていない場合があることが分かりました。

区分	1	2	3	4
評価	耐震性が十分に確保されている	耐震性が確保されている	倒壊する可能性がある	倒壊する可能性が高い
	診断結果がこの範囲となった住宅は耐震改修補助金の対象となります(昭和56年5月31日以前に着工された住宅は、この範囲の診断となることが多い)			

②耐震相談 ～耐震改修の方法などの疑問に無料でお答えします～



対象者 町主催の耐震診断を受けたかた、増改築に併せて耐震改修したい

開催予定 第1回 10月
第2回 令和4年2月

※住宅の間取り図や耐震診断結果などが必要です

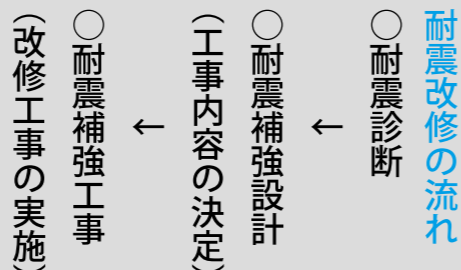
③耐震改修 ～補助金額を拡充、耐震改修の際にぜひご活用ください～

対象住宅 耐震診断の結果が、「3倒壊する可能性がある」「4倒壊する可能性が高い」だった住宅

募集期間 第1次 9月30日(木)まで
第2次 10月～12月(予定)

※応募の状況によって第2次募集を行います

補助金額 上限100万円(耐震補修工事にかかる費用の5分の4以内) ※昨年度の上限は80万円



写真は熊本大地震で被災した木造住宅

住まいの倒壊・損壊から命を守るために

耐震診断から始める地震に強い家づくり

予期せぬ地震への心構え

今年2月中旬に福島県沖で震度6強を観測する地震が発生しました。この地震では板倉町でも震度4の地震が観測されました。また、3月中旬には、宮城県沖で震度5強を観測する地震が発生しており、地震が多発している状況から皆さんの防災意識が改めて高まっているかと思えます。

しかし、防災意識は地震発生直後には高まりますが、時間の経過とともに低下してしまいがちです。「自分は大丈夫」と思わず「地震はいつ起きてもおかしくない」という心構えが大切です。

地震により自宅が倒壊してしまうと、長期間にわたり避難所や仮設住宅での不自由な生活を余儀なくされてしまいます。また、建物密集地で建

住まいの耐震性を高めて地震に備える

物倒壊が起きた場合、緊急車両の通行に支障をきたし、救助活動が遅れるなど、二次的被害の増大につながる恐れがあります。

住まいの耐震性を高めるために、まず建物の耐震性能を診断し、倒壊する可能性がある」と判定された場合には、基礎や壁の補強といった耐震改修工事を実施しましょう。

建物自体の補強のほかに、室内にあるタンスや本棚などの家具が倒れないように壁に固定したり、出入口を塞がないように家具の配置を工夫することも減災に効果があります。被害を少しでも軽減させるためにも、防災意識を持ち、住まいの耐震性を高めて地震に備えましょう。

震災に強いまちづくり板倉町の補助事業

町では、地震による建物の倒壊などの被害から皆さんを守り、震災に強いまちづくりを推進するため「第3期板倉町耐震改修促進計画」に基づき、住宅およびその他の建築物の耐震化の促進に取り組んでいます。

特に耐震性が不十分といわれる昭和56年5月以前に着工された木造住宅に対して

- ①耐震診断者の派遣
- ②耐震相談会の実施
- ③耐震改修費用の一部補助

を行い、耐震化の促進に取り組んでいます。

増改築やリフォームをする際も、住宅の耐震改修につながるような工事を同時に行い、効果的な住宅改修をされることをおすすめします。

問合せ 計画管理係
☎82-6151